

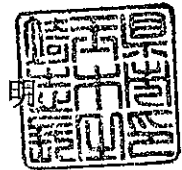
志 都 第 1 2 8 号

平成20年10月22日

国土交通省道路局長 様

埼玉県志木市

志木市長 長 沼



今後の道路行政についての意見・提案について(回答)

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました件については、別添様式のとおり回答いたします。

担 当 都市整備部都市計画課

電 話 048-473-1111

内 線 2900

担当者 谷澤嘉弘

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

埼玉県 志木市

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

○改善すべき点

- (1) 広域的な主要幹線道路等の整備が重点化されていますが、市町村においては道路構造令に準じていない（国庫補助対象外）幅員 6 m～10m 程度の住民生活に密着した地区内サービス道路（生活道路）の道路改築事業も重点事項となっています。
- このため、国庫補助事業（道路改築事業等）の対象とする規模の範囲を改善（拡大）して頂きたい。

○要望や提案など

- (1) 緊急災害時の重要な役割を果たす主要な幹線道路である一般国道 254 号和光川越間バイパス（志木市区間）について、道路整備財源を確保していただき、早期供用を待望しているところであります。
- また、東京外かく環状道路との結節付近の交通渋滞を解決するため、東京外かく環状道路以南へ延伸を希望します。
- (2) 真に必要としている道路整備を着実に進めていただくために、安定した道路整備財源を確保するとともに、公共事業を円滑に推進するため、公共用地等の取得に関する税制上の特別控除額を拡大することとが必要不可欠であります。
- (3) 特定交通安全施設等整備事業（あんしん歩行エリアの形成）において、次期 5 ヶ年計画の指定をお願いするとともに、補助採択基準の拡大を要望します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

埼玉県 志木市

②-1 地域の現状と抱える課題

○現状

- (1) 本市の都市計画道路の整備水準は低く、現状では整備された都市計画道路、未整備都市計画道路の現有区間、その他の県道、一定幅員以上の市道によって交通体系が組み立てられている。
- (2) 車椅子による移動への配慮等、福祉型社会に向けての交通施設改善が遅れている。
- (3) 近隣住民が日常生活に利用する地域幹線道路や地区内幹線道路に大型トラック等の通過交通が流入し、歩行空間や沿道空間に悪影響が見られる。
- (4) 地区内サービス道路の整備の遅れに伴う利便性と防災性能の低下している。
- (5) 本市は、かつて商業を中心とした都市として発展してきましたが、歴史、文化等に培われたまちの表情も時代の流れとともに変化し、市内及び近隣市における大型小売店舗の進出や人々を取巻く物流環境の変化などにより、商店街の衰退、空洞化が進行しています。
- (6) 近年では既存宅地や農地等を利用した中高層建築物や小規模開発といった多様な形態の混在した街が形づくられています。
- (7) 交通手段として自動車への依存度が高い現状である。

○課題

- (1) 体系的な道路ネットワーク整備の遅れから、骨格的な都市計画道路整備について優先順位を明確にしながら実施していく必要がある。
- (2) 平成21年8月には富士見川越有料道路(国道254号バイパス整備済み区間)が無料開放されるため、市内の交通渋滞や地域内の交通安全面が懸念されている。
- (3) 本市では鉄道駅へ徒歩で到達できるエリアが限られていることもあり、近距離交通手段として、バスや自転車の利便性改善が求められている。
- (4) 志木駅周辺等で交通バリアフリーが進められてきているが、今後とも福祉社会に向けて市域全般にわたる交通バリアフリー化が求められている。
- (5) 円滑な生活サービスを享受したり、災害時の緊急車路や避難経路を確保する上で最低幅員6m程度以上の地区内サービス道路ネットワークが必要とされている。
- (6) 都市計画道路や公園、緑地の整備や改善を進めるとともに、狭あい道路や木造住宅が密集した市街地が形成されている地域では、良好で安心できる住環境を図っていくことが必要である。
- (7) まちの質を高めるには市民が主体となり行政と協働するまちづくりを促進し、誰もが住みやすく、すべての人にやさしい“ユニバーサルデザイン”の普及に努め、良好な住環境の形成と地域の特性や多様性を尊重した調和の取れた美しい街並みや魅力ある都市景観の形成を図らなければならない。
- (8) 交通事故から市民等を守るため、安心・安全に通行できる道路環境を整備する必要がある。

②-2 地域の目指すべき将来像

◇将来都市像「みんなで創る、みんなのふるさと、輝く志木市」

- (1) 市民の豊かで多様な知識と経験を生かした、さらなる市民参加のまちづくりが進展し、あたたかいコミュニティと文化が育まれ、市民が主体となった『みんなで創る』にぎわいのある志木市を築きます。
- (2) 市内を流れる荒川・新河岸川・柳瀬川などの豊かな自然に恵まれた郷土の原風景を大切にし、心に安らぎのある新しいみんなのふるさと』を創出し、次代を担う子どもたちに引き継ぎます。
- (3) だれもが安心・安全な暮らしとふれあいを意識し、笑顔いっぱいの『輝く志木市』を創造し、愛着と誇りをもった市民による持続的な発展を目指します。

◇目標とする都市像

- (1) 「多様なライフスタイルを持つ人々のニーズに応える生活都市」を目指す。

〈都市像イメージ〉

- ① 高齢者や障害者も活動的で豊かな日々をおくり、住みつづけることのできる生活都市
- ② 様々な条件で働く市民にとって、拠点となりえる生活都市 他

- (2) 「都心から25km圏の水と緑に囲まれた住宅地」を目指す。

〈都市像イメージ〉

- ① 都心へ45分で行くことのできる駅に近い、水と緑に囲まれた機能的な住宅地
- ② 居住者自らが、住み方や建替えのルールをつくって、安全性と居住性を高める住宅地 他

- (3) 「自立ネットワーク型都市圏」の形成を目指す。

〈都市像イメージ〉

- ① 相互関係と共通イメージを備えた東武東上線沿線エリア都市圏
- ② 比較的身近な圏域で居住支援機能、業務機能、余暇機能、福祉サービス機能、防災機能などを相互に補完しあう都市圏 他

- (4) 「歴史と文化を持つ成熟都市」を目指す

〈都市像イメージ〉

- ① 定住の歴史と誇りが各所に生き、安住することのできる成熟都市
- ② 多様な自然、街並み、都市空間を持つ豊かで楽しい成熟都市 他

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

埼玉県 志木市

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項

○代表事例

○期待する効果や評価等

○その他

・地域活力の向上

一般国道254号和光川越間バイパス整備
(都市計画道路・志木朝霞線)

地域の活性化と地場産業等の振興を図り、賑わいと活気あるまちづくりへの効果や市内の交通渋滞や地域内の交通安全面での交通安全対策が期待できる。

・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化

歩車道分離事業
(安心・安全な道路空間整備事業)

交通手段として自動車への依存度が高いため、地区内サービス道路において、歩道と車道を分離し、交通事故から市民等を守り、交通弱者など全ての市民が安全に安心して歩ける歩行空間の確保が期待できる。

・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成

街路事業(中央通り停車場線)

都市の中心軸となる志木駅周辺から行政サービス拠点間の交通バリアフリー、アクセス強化、交通渋滞の緩和及び自転車歩行者道路による歩行者・自転車等市民生活の利便性の向上、更には都市景観の形成や安心・安全で快適な生活環境が期待できる。